

HPLC の立ち上げ

1. 屈折率 (RI) 検出器 (RID-10A) とオンライン脱気装置 (DGU-12A) は常に ON。
2. 紫外線 (UV) 検出器 (SPD-10AV) とポンプ (LC-10AT) のスイッチを入れる。
必要ならば (時間精度の高い分析を必要とするとき : GPC など) カラムオープン (CTO-10A) のスイッチも入れる。
3. 溶媒 (HPLC 用の溶媒を使うこと!) を用意し、フィルターのついた給液部を入れる。
4. ポンプの DRAIN バルブを開け、pump スイッチを押して送液を開始する。
5. 廃液ラインに気泡が見られなくなったら、DRAIN バルブを閉じる。
6. ChromNAV を立ち上げ、モニターを開始する。
7. RI 検出器のパネルで、shift-8 と押す。R flow のランプが点灯する。
8. モニターのベースラインが平らになるまで待つ。
9. RI 検出器のパネルで、shift-7 と押す。表示がBALANCEに変わり内部調整が行われるので、表示が元の状態 (balance、RI (10^{-6})、range、modeが表示される状態) に戻るまで待つ。
10. RI 検出器のパネルで zero を押す。
11. UV 検出器のパネルで zero を押す。
12. モニターのベースラインが平らになるまで待つ。
13. RI 検出器のパネルで、shift-8 と押す。R flow のランプが消灯する。
14. モニターのベースラインが平らになるまで待つ。
15. RI 検出器のパネルで zero を押す。
16. モニターのベースラインが平らになるまで待つ。
17. 準備 OK